防災道の駅「みやま」 コンテナトイレ

福岡県 Fukuoka Prefecture

災害時のトイレ環境を改善するために、令和8年3月、道の駅「みやま」にコンテナトイレを設置しました。





コンテナトイレの特徴

- ◆ 太陽光パネルと蓄電池を備え、必要な電力を賄うことができます。
- ◆ 微生物分解と膜ろ過によりし尿を処理し、洗浄水として循環させるため、上下水道に接続せずに約４,０００回使用できます。



コンテナトイレ　内部イメージ

～令和8年熊本地震被災地支援～









氷川町からの要請を受けて、令和8年8月1日に、道の駅「みやま」を出発しました。

氷川町ボランティアセンターでは、9月14日までの間に、約3,600回使用されました



現地の方々からは
「非常に助かった」
「においが気にならなかった」
「快適に利用できた」
等のお言葉をいただきました。